

恋人の聖地 柘水高原

鳥取 山陰地方で初選定

大山のふもとに広がる鳥取県伯耆町の柘水高原が「恋人の聖地」に選ばれた。町おこしと少子化対策のため、NPO法人「地域活性化支援センター」（静岡市）が進めるプロジェクトで、山陰地方の選定は初めて。

「恋人の聖地」プロジェクトは、プロポーズにふさわしい場所を全国100カ所を目標に選ぶ企画で、2006年に始まった。各地の観光振興や地域間の交流、少子化対策につなげる狙いがある。

六本木ヒルズ展望台（東京）や梅田スカイビル空中庭

園（大阪）など96カ所が聖地になっている。今月25日の選定委員会で、ファッションデザイナーの桂由美さん、華道家の假屋崎省吾さんらが新たに7カ所を選んだ。

柘水高原には身分違いの悲恋を描いた地元出身の小説家大江賢次の代表作「絶唱」の石碑が立つ。夏のイベントで恋人へのメッセージとともに花火を打ち上げたり、スキーシーズン真っただ中のバレエ・タインデーにろうそくで幻想的な演出を施したり、と地元はこれまでもカップルを意識した催しを展開してきた。



新緑の柘水高原はカップルがゆっくり過ごすにはもってこい＝鳥取県伯耆町

そこで伯耆町は聖地の候補として名乗りを上げることを決め、標高900以上の展望台から眺める絶景や、静かにゆったりと過ごせる自然の美しさを売り込んだ。

町地域再生戦略課は「他の

聖地は有名な観光地ばかり。肩を並べられるようにしたい」と熱が入る。今後、町のホームページでアピールするほか、柘水高原でリフトを運行する業者らと連携し、全国に発信する考えだ。（中村瞬）